
2019年1月期決算(連結) 説明会

株式会社東京ドーム

目次

【2019年1月期 決算 総括】

総括		3	【2019年1月期 東京ドームグループ マーケティングに関するトピックス】	
【2019年1月期 決算 実績】			フード&コミュニティ『Hi!EVERYVALLEY』について	 17
2019年1月期 概況		5	キャビンスタイルホテル『ファーストキャビン 東京ドームシティ』について	 18
2019年1月期 決算(連結) 実績		6		
貸借対照表(連結)		7	【2019年1月期 東京ドームグループ 企業の取り組みに関するトピックス】	
キャッシュ・フロー(連結)		8	自己株式の取得について	 20
当社グループの事業セグメント		9	環境・温暖化対策について	 21
セグメント別売上高		10		
セグメント別営業利益		11		
事業セグメント トピックス		12	【2020年1月期 業績予想および配当予想】	
			2020年1月期 業績予想および配当予想	 23
【2019年1月期 東京ドームシティ事業 トピックス】				
コンベンションイベント実績と外部展開		14	※参考資料	 26
東京ドームシティ アトラクションズについて		15		

※資料内、表における増減比較は、1円単位で計算しているため、表の数字の増減と合わないことがあります。

2019年1月期 決算 総括

(株)東京ドーム 代表取締役社長 執行役員
長岡 勤

総括

- ・ 中期経営計画「新機軸」について

ATAMI BAY RESORT KORAKUEN 2019年3月28日開業

→宿泊機能メインだった熱海後樂園ホテルは日帰り需要も取り込むために温泉施設、飲食・物販施設が付加されたリゾートエリアに転換。

日帰り利用客のターゲットが加味されることによって、ビジネス基盤の強化を図る。

総事業費：約110億円

売上見込：45億円（初年度）

動員見込：宿泊施設13万人／年 温泉施設25万人／年



2019年1月期 決算 実績

(株)東京ドーム 常務取締役 執行役員
小田切 吉隆

2019年1月期 概況

○収支について

- ・ 期首予想を上回る業績で推移。

東京ドームのコンサートイベント開催日数増加及び物販好調による

※期首予想

(単位：百万円)	19.1期	期首予想	増減
売上高	87,048	83,800	3,248
営業利益	11,481	10,100	1,381
経常利益	10,402	8,800	1,602
純利益	6,962	6,000	962

○設備投資について

- ・ 熱海新館建設工事他で増加。

○有利子負債残高について

- ・ 中期経営計画目標額を達成。

2019年1月期 決算(連結) 実績

(単位:百万円)

	19.1期	18.1期	増減	要因(18.1期比)
売上高	87,048	83,686	3,361	<増収要因> ・東京ドームのコンサートイベント開催日数増加及び物販好調 ・Gallery AaMo(ギャラリーアーモ)通期稼動 ・松戸競輪場における本場開催の増加 <利益への影響要因> 【営業利益】 ・原価率の高い物販売上等の増加により売上原価増 【税前利益】 ・特別利益の投資有価証券売却益8億弱減、受取補償金5億弱減
営業利益	11,481	11,389	92	
経常利益	10,402	10,057	345	
税金等調整前 当期純利益	10,173	11,349	△1,175	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	6,962	8,116	△1,153	

減価償却費	6,902	6,751	151	黄色いビル転換工事、Spa LaQua改装による
設備投資額	17,176	9,587	7,589	熱海後樂園ホテル新館建設工事(約89億円) 黄色いビル転換工事
有利子負債額	134,378	140,513	△6,135	中期経営計画「新機軸」有利子負債残高目標額 1,390億円を達成

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

資産	19.1期末	18.1 期末比	負債純資産	19.1期末	18.1 期末比
流動資産	18,685	△8,275	流動負債	61,809	2,336
固定資産	278,974	1,150	固定負債	135,694	△6,069
有形固定資産	245,559	9,382	負債合計	197,503	△3,733
無形固定資産	1,352	37	株主資本	37,010	2,159
投資その他の資産	32,061	△8,269	その他の包括 利益累計額	65,060	△5,528
繰延資産	1,915	23	土地再評価差額金	55,286	0
			純資産合計	102,070	△3,369
資産合計	299,574	△7,102	負債純資産合計	299,574	△7,102

キャッシュ・フロー(連結)

(単位: 百万円)

	19.1期	18.1期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,845	17,676	△830
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,311	△6,657	△4,654
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,563	△14,062	1,498
現金及び現金同等物の増減額	△7,029	△3,043	△3,985
現金及び現金同等物の期首残高	17,595	20,639	△3,043
現金及び現金同等物の期末残高	10,566	17,595	△7,029

当社グループの事業セグメント

□ 東京ドームシティ事業

東京ドーム
LaQua
黄色いビル

東京ドームシティ アトラクションズ
MEETS PORT
東京ドームホテル 他

□ 流通事業

shop in 他

□ 不動産事業

アドホック新宿、プチモールニッ木
代々木イースト 他

□ 熱海事業

熱海後樂園ホテル

□ 競輪事業

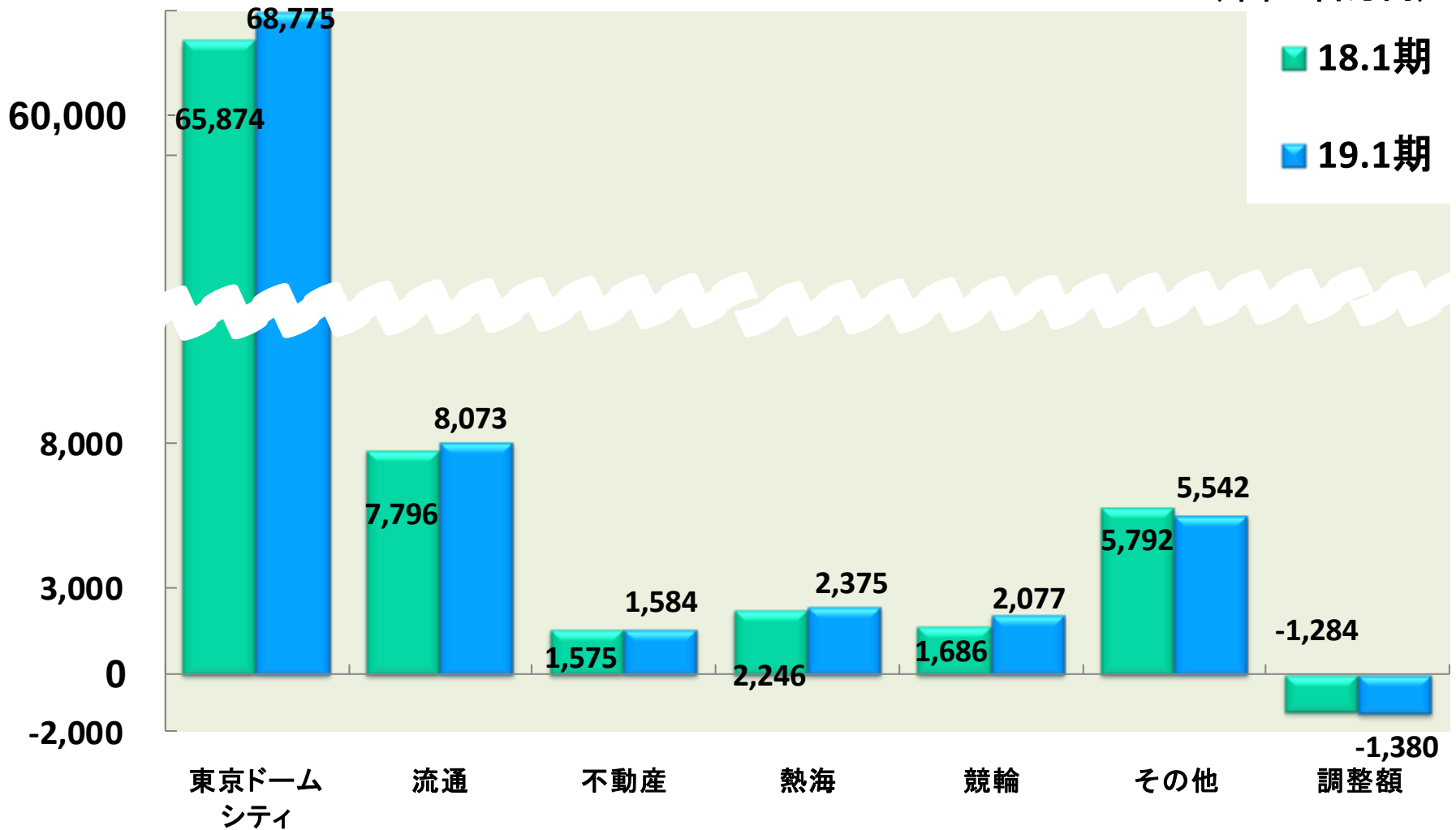
松戸競輪場 他

□ その他

スポーツ施設運営事業、
生命・損害・医療保険代理店事業、
有価証券の保有・管理事業 他

セグメント別売上高

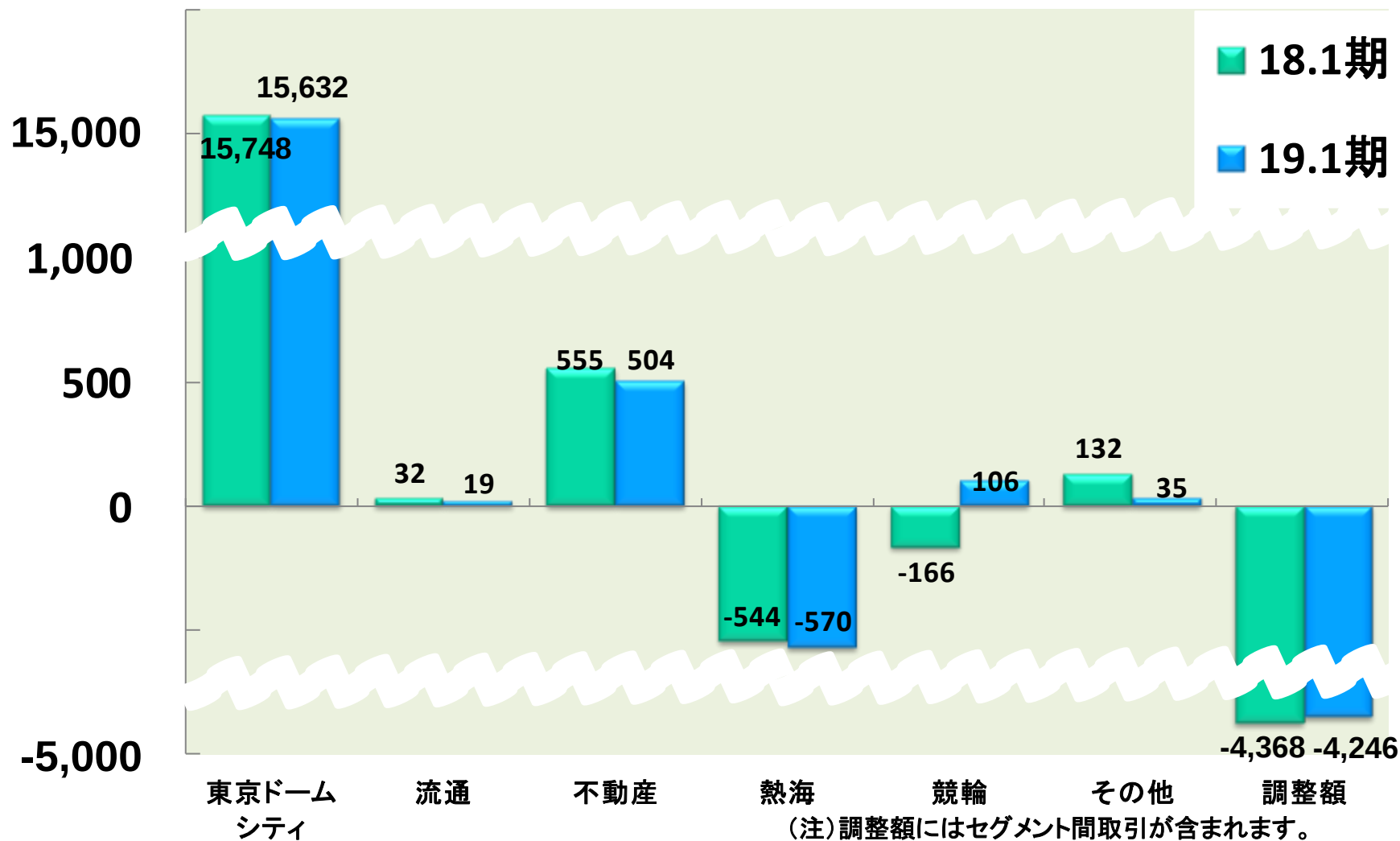
(単位:百万円)



(注)調整額にはセグメント間取引が含まれます。

セグメント別営業利益

(単位: 百万円)



事業セグメント トピックス

○東京ドームシティ事業

- ・東京ドームでのコンサートイベントの開催日数増加と物販の好調
東京ドームシティ アトラクションズは、各アトラクションや「アソボ〜ノ！」の利用増
Spa LaQuaの通期稼動などにより増収。

○流通事業

- ・既存店は好調を維持し増収も、新業態展開の費用負担もあり減益。

○不動産事業

- ・新規物件の取得により増収も、諸税課金の負担により減益。

○熱海事業

- ・観光地としての評価の高まりを背景に利用者数が増加し、増収も、新館オープンの準備費用などの負担により、減益。

○競輪事業

- ・松戸競輪は、千葉市営競輪の代替開催など本場開催が増加したことにより、増収。

○その他

- ・公共施設の運営を請け負う指定管理事業について、受託施設の増加はあったものの、東京ドームホテル 札幌が一昨年4月をもって営業を終了したことにより、減収。

2019年1月期 東京ドームシティ事業 トピックス

(株)東京ドーム 代表取締役専務 執行役員
山住 昭宏

コンベンションイベント実績と外部展開

当社が開催しているコンベンションイベント実績と、そのコンテンツを活用した外部展開事例をご紹介します。

コンベンション名	動員(人)			開催期間 (日)	
	2018年	2019年	前年比	2018年	2019年
ふるさと祭り東京	421,000	424,000	101%	10	10
東京国際キルトフェスティバル	215,000	210,000	98%	7	7
テーブルウェアフェスティバル	288,000	275,000	95%	9	9
世界らん展	118,000	136,000	115%	8	8

コンテンツ外部展開事例

2016年

全国ご当地どんぶり選手権in香港 (左)

ISETAN TABLEWARE FESTIVAL (右)



2018年

全国ご当地

グルメッセ

(香川県開催)



東京ドームシティ アトラクションズについて

3月23日（土）ジオポリス内に新2機種リニューアルオープン



パニックコースター「バックダーン」

1周目は前向き、2周目は後ろ向きに進む、お子さまにもお楽しみいただける屋内ファミリーコースター。屋内環境を活かした暗闇の中での走行や、照明演出、コミカルなバクダンが破裂する映像演出など、意外性盛りだくさんのコースター。



3Dシューティング「ガンガンバトルズ」

3Dメガネをかけ、迫力のある映像と連動するシートに座り、光線銃で標的を射撃する シューティングアトラクション。2つのシアターで異なるソフトを、周りの参加者と点数を競いながら何度でもお楽しみいただけます。

料金改定
(3月23日より)

	大人：18歳以上	シニア：60歳以上 中人：中高生	小人：小学生	幼児：3歳～小学校入学前
ワンデーパスポート (1日乗り放題)	4,200円 (3月22日までは3,900円)	3,700円 (3月22日までは3,400円)	2,800円 (3月22日までは2,500円)	1,800円 (3月22日までは1,500円)
ナイト割引パスポート (17:00～乗り放題)	3,200円 (3月22日までは2,900円)	2,700円 (3月22日までは2,500円)	2,300円 (3月22日までは2,100円)	1,500円 (3月22日までは設定なし)
ライド5 (アトラクション5回券)	2,800円 (3月22日までは2,600円)			

2019年1月期
東京ドームグループ
マーケティングに関するトピックス

(株)東京ドーム 常務取締役 執行役員
西勝 昭

フード&コミュニティ『Hi!EVERYVALLEY』について

◎エリアコンセプト：

コンテナを用いた複数の飲食店を中心に、緑やアートなどに囲われたフード&コミュニティ空間。

◎店舗：6店舗 [フードコンテナ 4店舗、ケータリングカー 2店舗]

<フードコンテナ>

店名	業態	会社名	キャプション	ロゴ
シュマツツ SCHMATZ	ビアスタンド	カイザーキッチン株式会社	クラフトドイツビールや本場ドイツのホットドッグが気軽に楽しめるビアスタンド	
山本のハンバーグ MeatBall and Wine	ハンバーグ専門店	株式会社俺カンパニー	手作り出来たて“ごちそう”ハンバーグ&食べ歩きミートボール	
タイ料理研究所	タイ料理	株式会社SUU・SUU・CHAIYOO	東京ドームシティにタイが出現！カラフル店内で本格タイ料理をお楽しみ！	
ブライアントコーヒー BRYANT COFFEE	コーヒーショップ	株式会社インセプション	世界で1台となる特注エスプレッソマシンで淹れるコーヒーショップ	



<ケータリングカー>

店名	業態	会社名	キャプション	ロゴ
ミートフレッシュ シェンユイシェン MeetFresh 鮮芋仙	台湾スイーツ	スムーズデザイン株式会社	世界700店舗を超える低カロリーで体に嬉しい王道台湾スイーツ店	
マリオンクレープ	クレープ	株式会社マリオン	焼きたてサクサククレープとプルプルもちもちタピオカドリンク	



キャビンスタイルホテル『ファーストキャビン 東京ドームシティ』について

ファーストキャビンは「コンパクト＆ラグジュアリー」をコンセプトに低料金ながら充実したサービスとスタイリッシュでゆとりある客室空間が好評の、今までにない新しい未来型ホテルです。2019年3月現在、全国で24施設を展開しており、本施設は都内で11施設目となります。

◎名称：ファーストキャビン 東京ドームシティ

◎キャビン数：131キャビン

ファーストクラスキャビン : 15キャビン

ビジネスクラスキャビン : 80キャビン

プレミアムエコノミークラスキャビン : 36キャビン



◎利用料金：標準料金は季節や曜日により変動します。



2019年1月期 東京ドームグループ 企業の取り組みに関するトピックス

(株)東京ドーム 代表取締役副社長 執行役員
野村 龍介

自己株式の取得について

1. 自己株式の取得を行った理由

資本効率の向上を図るとともに、機動的な資本政策の遂行を目的として、自己株式の取得を行いました。

2. 取得に係る事項の内容

- (1) 取得した株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得した株式の総数 3,000,000 株
- (3) 株式の取得価額の総額 2,991,000,000 円



自己株式取得についての今後の方針

新機軸計画期間内においては、有利子負債の削減も順調に進んでいることから、取得の時機、機会があれば今後も実施を検討していきたいと考えています。



環境・温暖化対策について

省エネルギーや温室効果ガスの削減、大気汚染の原因分子の減少に目を向け、事業を展開しております。

東京都が規定する温室効果ガスにおける法定削減義務は毎年大幅に上回ってクリアしており、高効率の空調設備やLED照明への更新、エネルギーの可視化を目的とした管理システムの導入などの省エネ関連の投資は、東京ドームシティのより良い環境づくりという観点においても非常に重要なものと認識しております。

また、東京ドームシティでは、東京ドームをはじめとしてエネルギー消費量の大きな施設を保有するため、環境対策には力を注いでおり、地域冷暖房などの各種環境対策システムの導入をいち早く実現しています。

事業活動に伴って排出されるゴミについては、適正に処分するのはもとより、ゴミの量や種類を把握し、トイレットペーパーやコピー用紙など再生紙を積極的に活用するなど、資源ゴミのリサイクルやゴミの減量化に取り組んでいます。



東京ドームシティ内の
主要施設が導入している
環境対策システム



2020年1月期 業績予想および配当予想

(株)東京ドーム 代表取締役副社長 執行役員
野村 龍介

2020年1月期業績予想および配当予想

(単位:百万円)

	20.1期 予想	19.1期 実績	増減	要因(19.1期比)
売上高	89,000	87,048	1,952	【売上高】 ・「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」、 「Hi!EVERYVALLEY」、「ファーストキャビン東京ドーム シティ」のオープンや、新アトラクション2機種の導入効果 【営業利益】 ・売上増も、減価償却費の増加や、種々の開業に伴う費用 計上等による 【当期純利益】 ・投資有価証券売却益を見込まず ※今期業績予想からの主な変動要因 ・プロ野球ポストシーズンゲームの開催 ・東京ドームイベント関連収入の増加
営業利益	11,500	11,481	19	
経常利益	10,500	10,402	98	
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,000	6,962	△962	
配当	12円	16円	△4円	
減価償却費	7,700	6,902	798	熱海新館、アトラクション2機種
設備投資額	6,800	17,176	△10,376	20.1期設備投資 東京ドーム人工芝リニューアル 黄色いビル1F転換工事
有利子負債	133,100	134,378	△1,278	

**本日は弊社説明会にお越しいただきまして
誠にありがとうございました。**

この資料に関するご質問、その他ご意見等ございましたら下記に
お問い合わせください。

お問い合わせ先 (株)東京ドーム 広報IR室

TEL (03)3817-6030 FAX (03)3817-6022
E-MAIL koho-ir@gms.tokyo-dome.co.jp

予測に関する注意事項

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(業績予想等を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご利用に際しましては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しましても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は(株)東京ドームに帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

質疑応答

Q: 東京ドームホテルのインバウンド状況は？

A: 30%前後で推移している。

Q: GW（10連休）の影響は？

A: 具体的な数字は公表しないが、巨人戦も予定されているので、売上には好影響があると考えている。

Q: オリンピック期間中の営業はどうなるのか？

A: オリンピック期間中は野球が中断すると発表された。神宮球場や横浜スタジアムが利用できなくなるようなので、要請があれば協力したいと考えている。またプロ野球以外の営業については、現時点では具体的にお話しできない。

Q: 熱海地区及び熱海後樂園のインバウンド状況は？

A: 熱海全体で1~2%と聞いている、熱海後樂園は約1%である。

Q: 熱海後樂園黒字化はいつ頃の予定か？

A: 2年目を見込んでいる。なお、投資回収は19年目の予定である。

Q: 消費税増税に対する価格戦略は？

A: スパ ラクーアは一昨年値上げを行っている。また、東京ドームシティ アトラクションズも今春値上げを予定している。そのため東京ドームシティ アトラクションズは増税時に値上げはしない。
価格戦略としては、料金に見合った価値向上を目指したいと考えている。

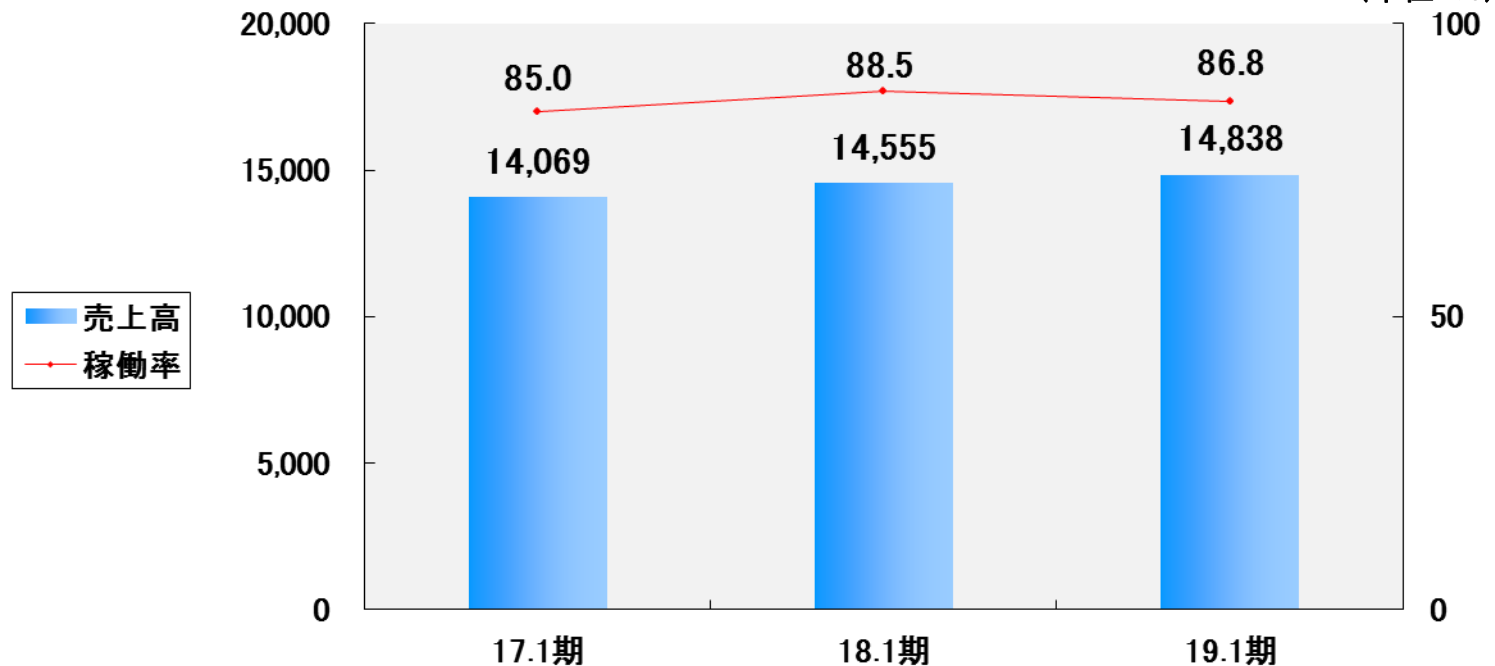


参考資料

東京ドーム

(単位:百万円)

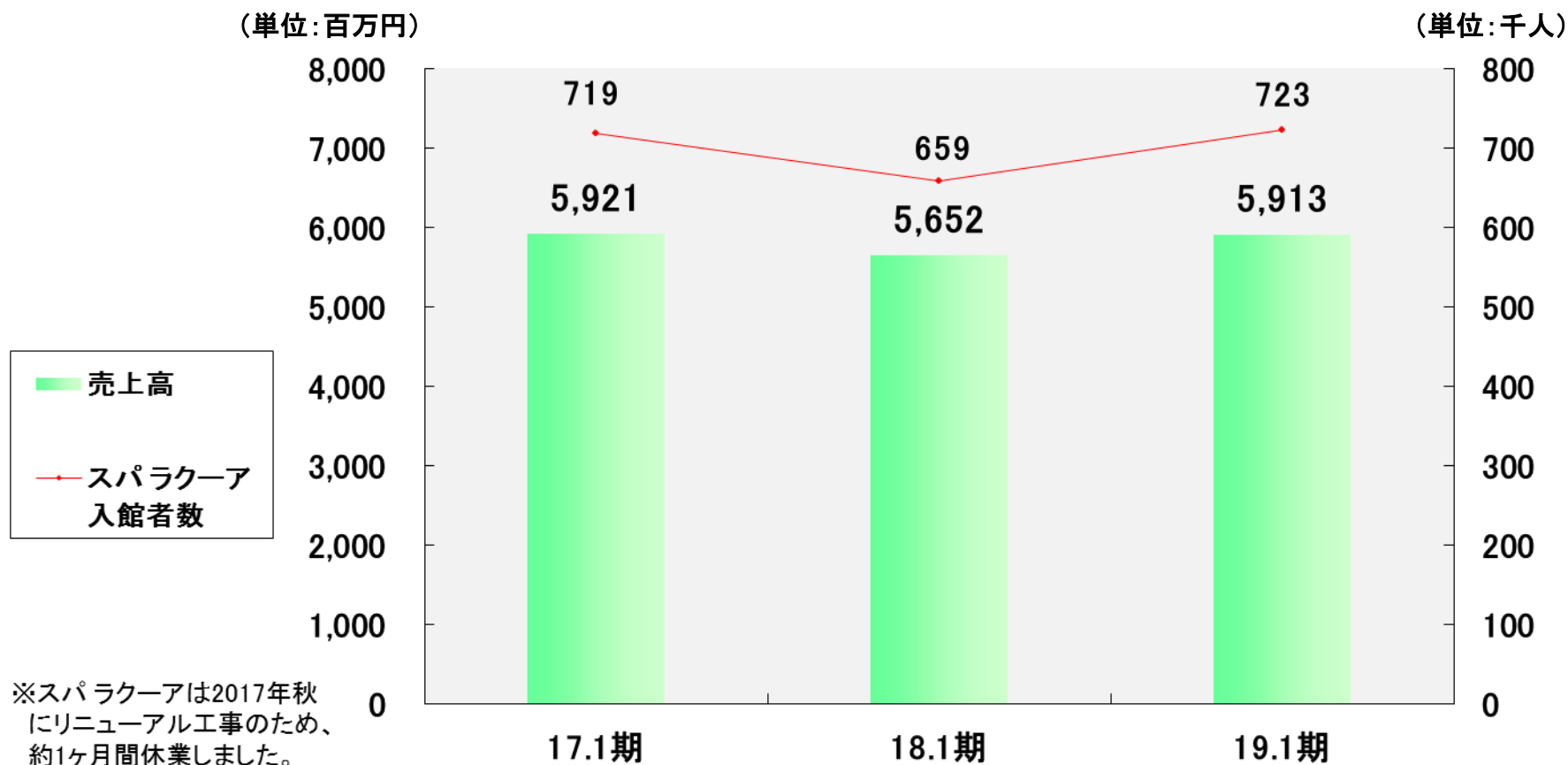
(単位:%)



ジャンル別稼働日数	17.1期	18.1期	19.1期	19.1期予算	予算比
プロ野球 【巨人ペナント戦】	94 [66]	92 [63]	91 [64]	92 [63]	△1 [1]
その他野球	30	28	29	29	0
コンサートイベント ※	123 (65)	144 (73)	138 (76)	121 (70)	17 (6)
その他イベント ※	64 (46)	59 (45)	59 (44)	57 (41)	2 (3)
合計	311	323	317	299	18

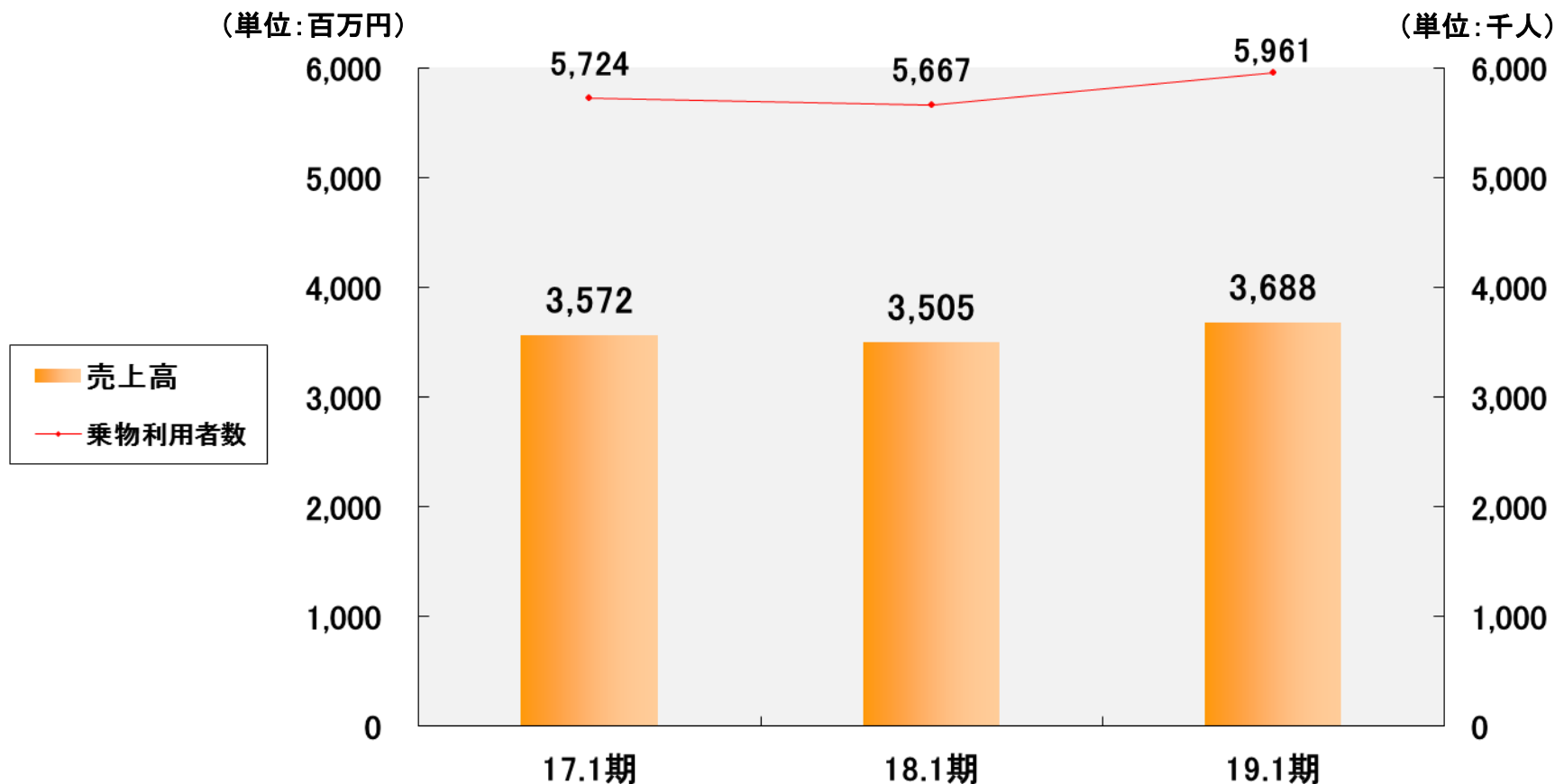
※ 設営日、撤去日を含む。()内は、イベント開催日数

LaQua(ラクーア)



参考	17.1期	18.1期	19.1期
来街者数(千人)	15,101	14,920	15,290
各テナント売上合計(百万円)	13,754	13,722	13,678

東京ドームシティ アトラクションズ、ASOBono!(アソボーノ)

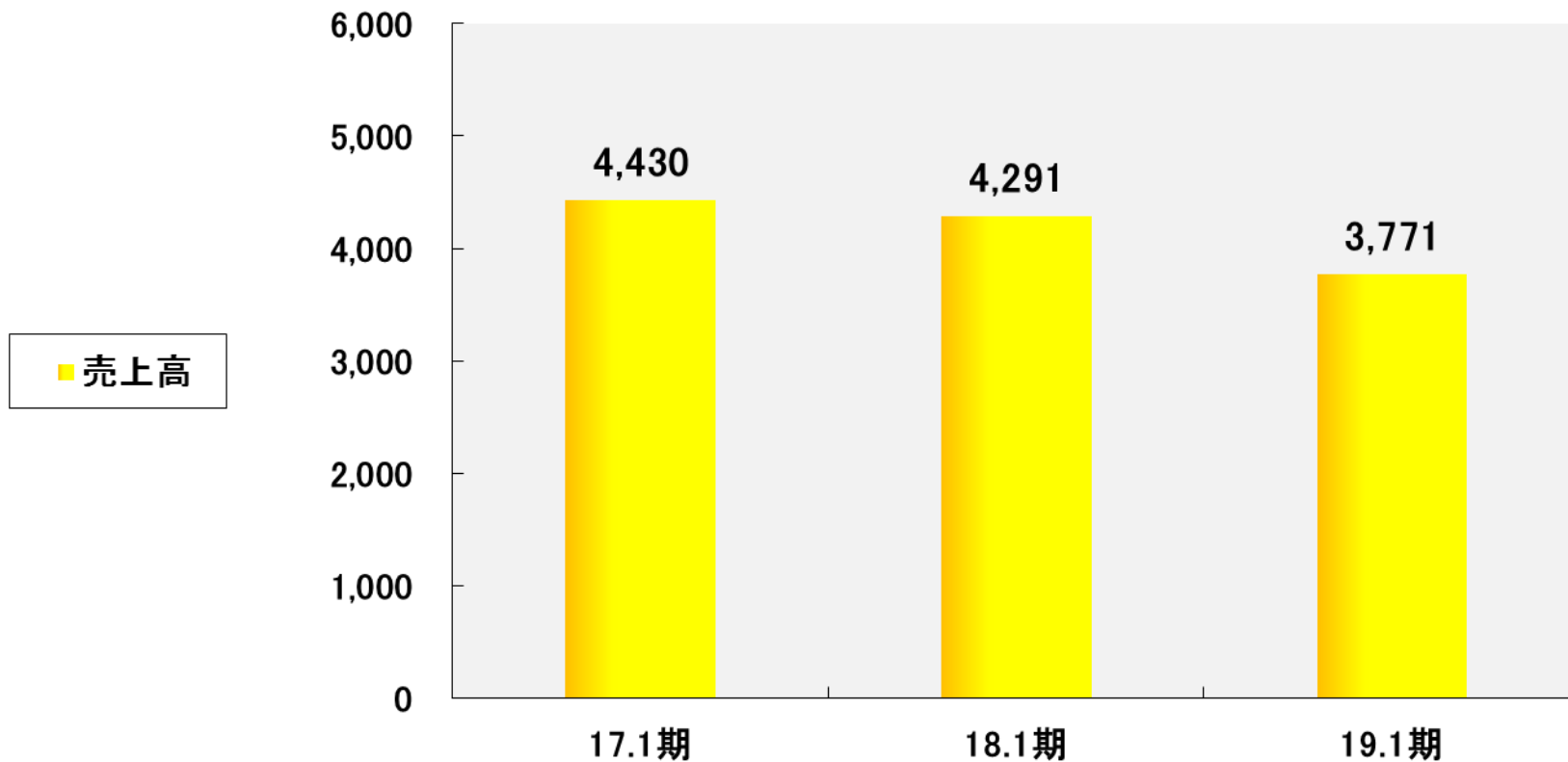


売上高内訳 (百万円)	17.1期	18.1期	19.1期
東京ドームシティ アトラクションズ 売上高	3,209	3,132	3,305
ASOBono! 売上高	363	372	383

黄色いビル

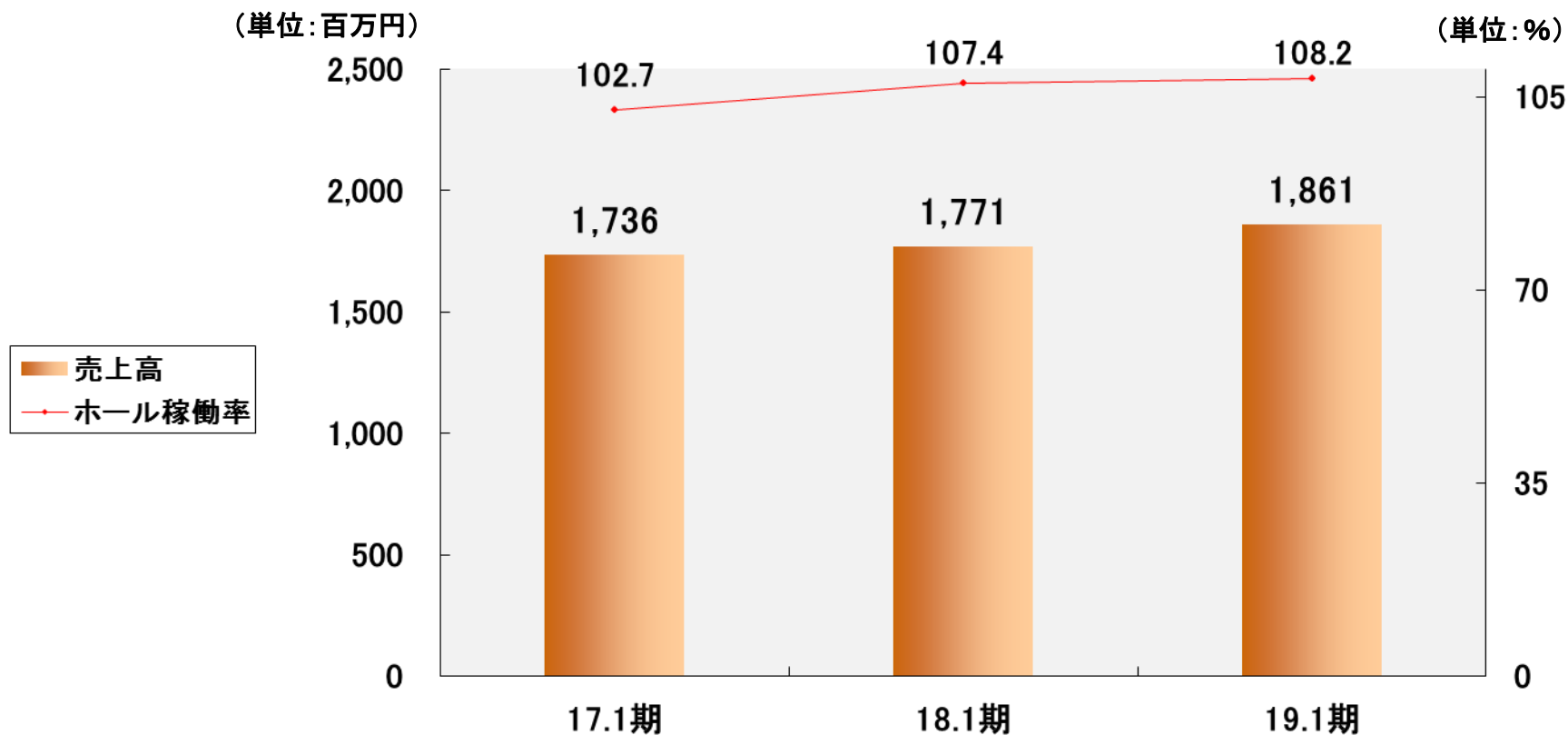
※売上高の主な内訳は、場外馬券場の賃貸収入となっております。

(単位:百万円)



参考	17.1期	18.1期	19.1期
ウインズ開催日数	108	109	109
オフト開催日数	265	270	273

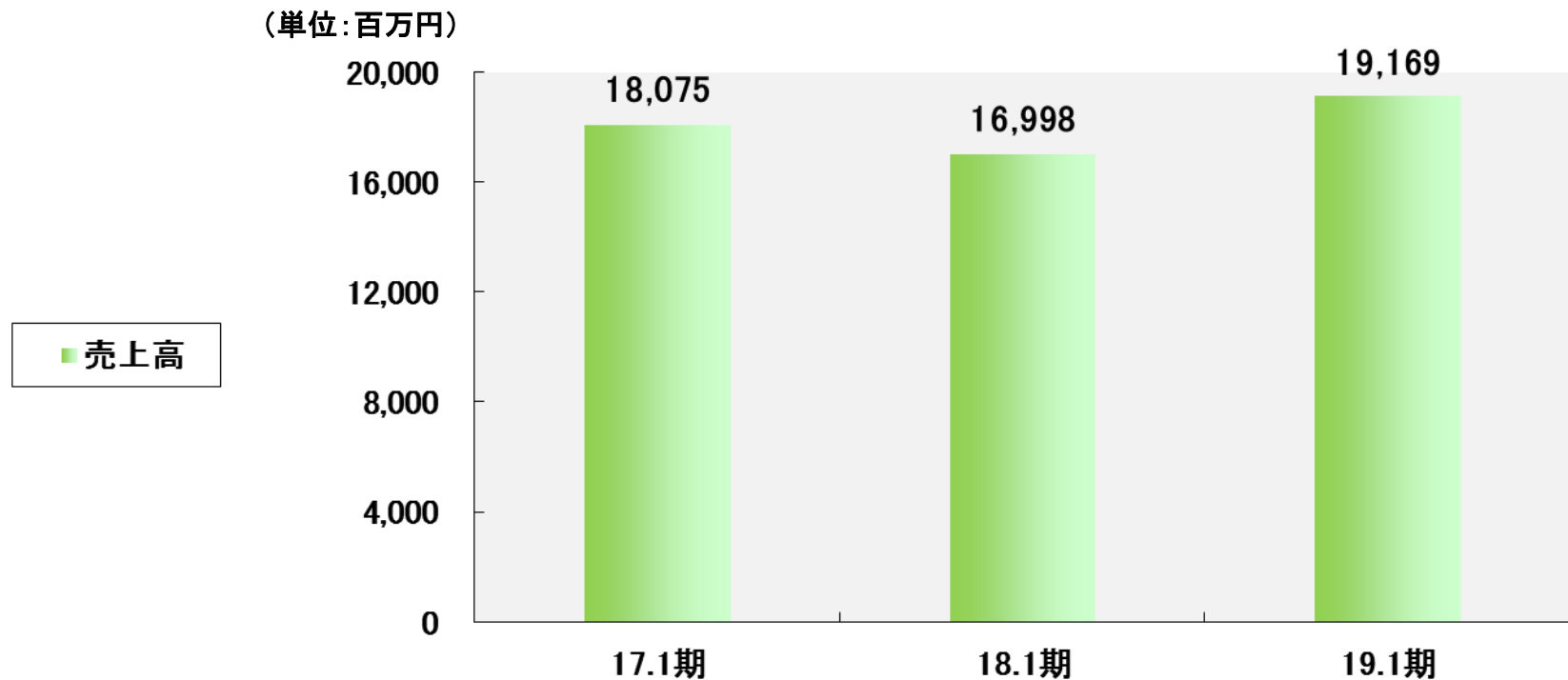
MEETS PORT(ミーツポート)



参考	17.1期	18.1期	19.1期
ホール稼働回数 ※	376 (298)	392 (298)	395 (318)
ホール入場者数(千人)	521	550	604
各テナント売上合計(百万円)	5,592	5,774	6,295

※ 設営、撤去を含む。()内は、イベント開催回数

飲食 & 物販

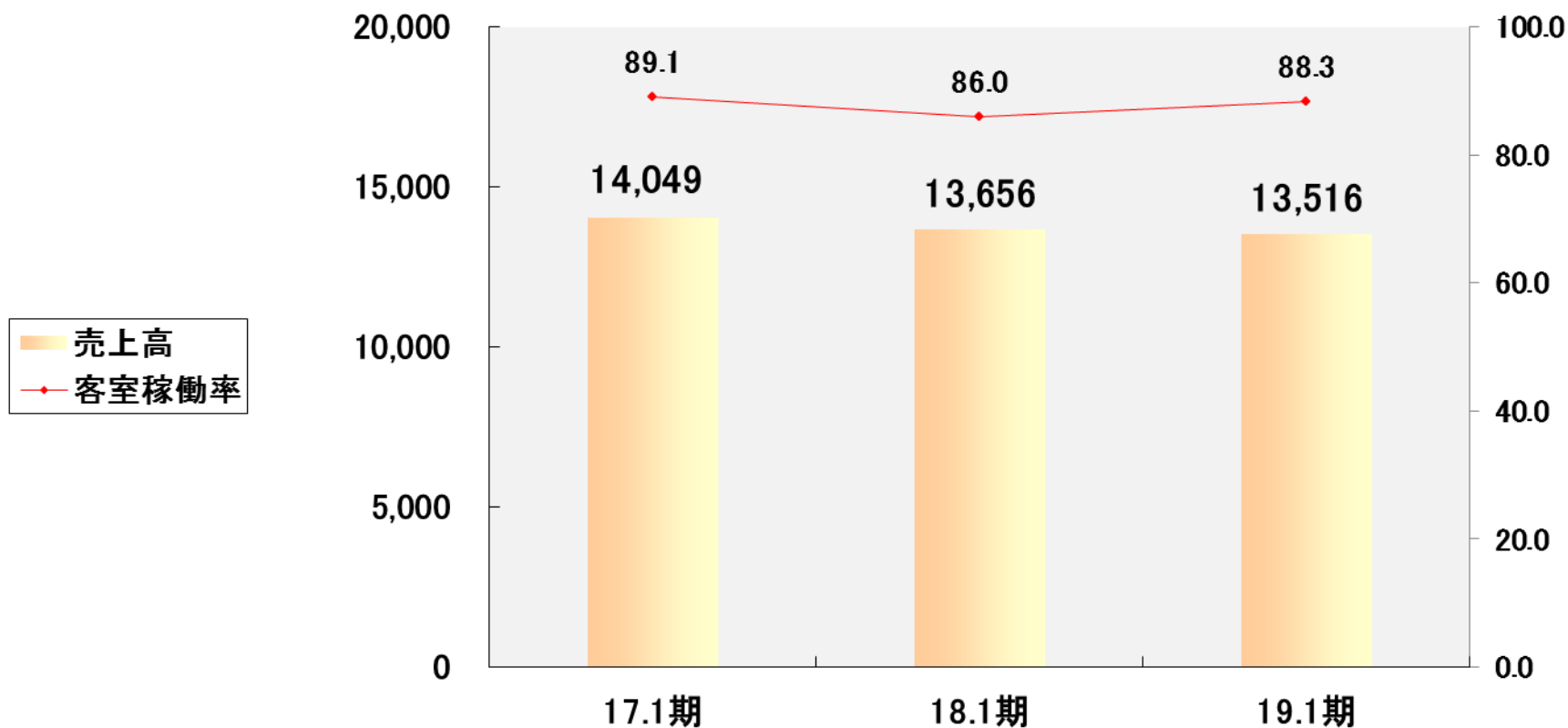


売上高内訳 (百万円)	17.1期	18.1期	19.1期
東京ドームエリア	16,898	15,831	17,988
黄色いビルエリア	428	376	319
アトラクションズエリア	495	490	514
後楽園ホールビルエリア	107	110	111
その他	145	189	235

東京ドームホテル

(単位:百万円)

(単位:%)

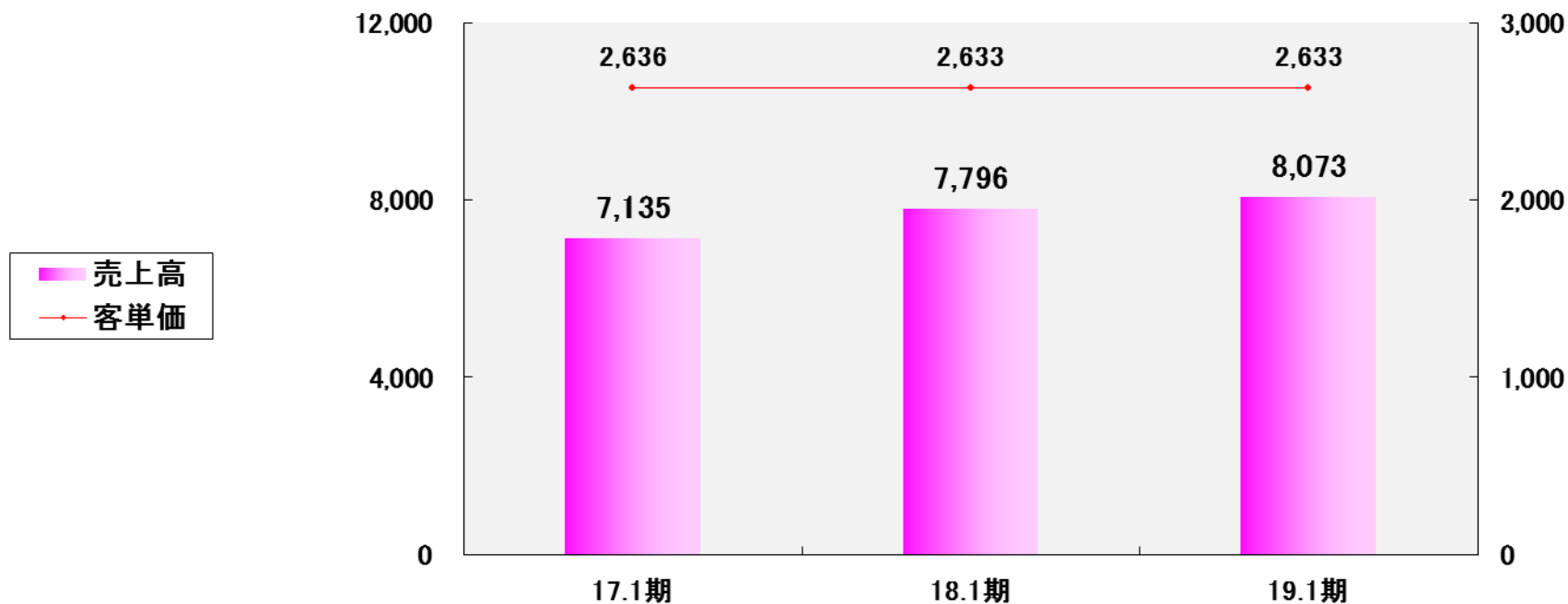


参考	17.1期	18.1期	19.1期
宿泊者数(千人)	528	501	528
宴会件数	2,190	2,188	2,120
婚礼件数	248	213	229

流通事業 shop in(ショッピング)等

(単位:百万円)

(単位:円)

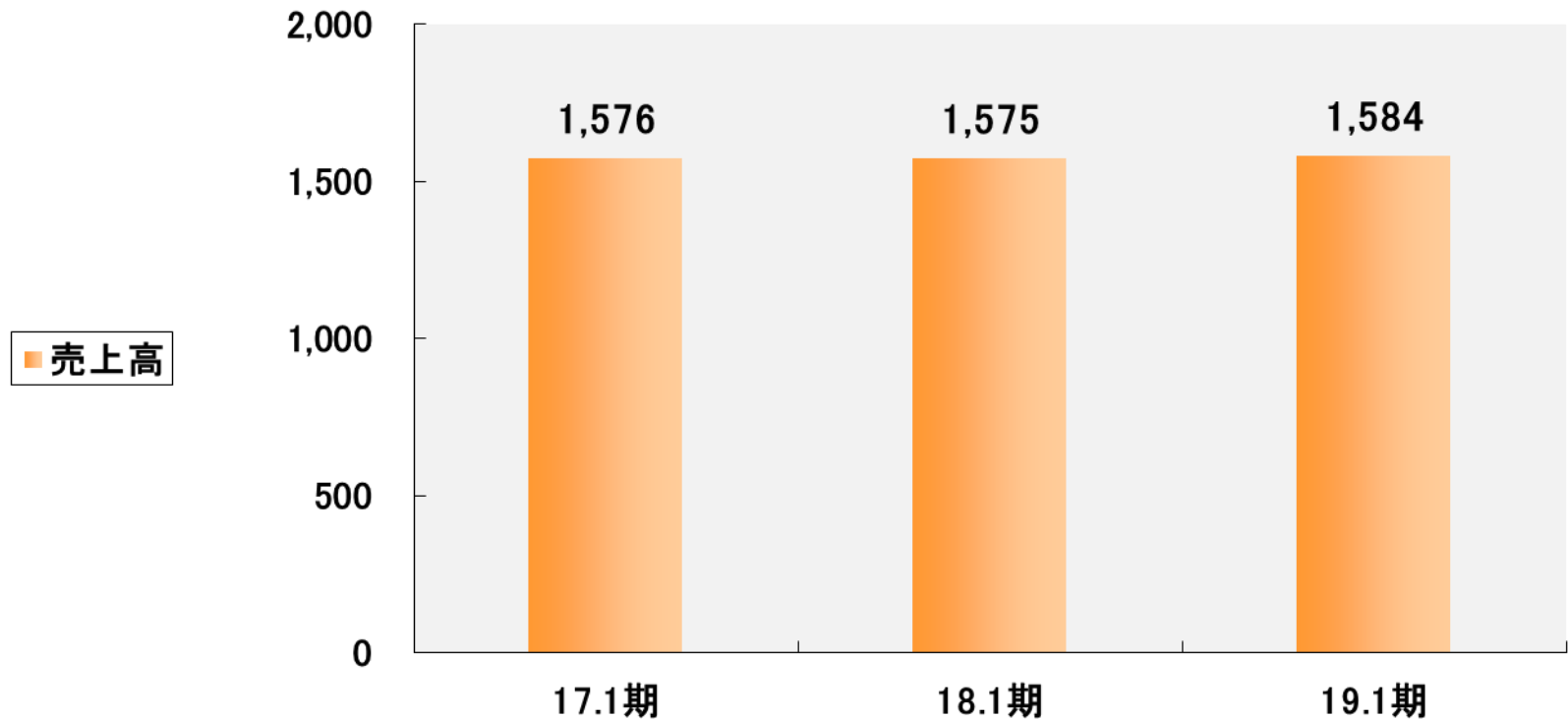


参考	17.1期	18.1期	19.1期
月坪売上(千円)	358	406	423
店舗数	41	41	42

- 新規出店: 武蔵小杉グランツリー(18年2月1日)、小田急百貨店新宿(18年2月28日)、ルミネ新宿(18年5月14日)
- 退店: 銀座インズ(18年7月31日)※京阪百貨店ひらかた(18年1月31日)

不動産事業

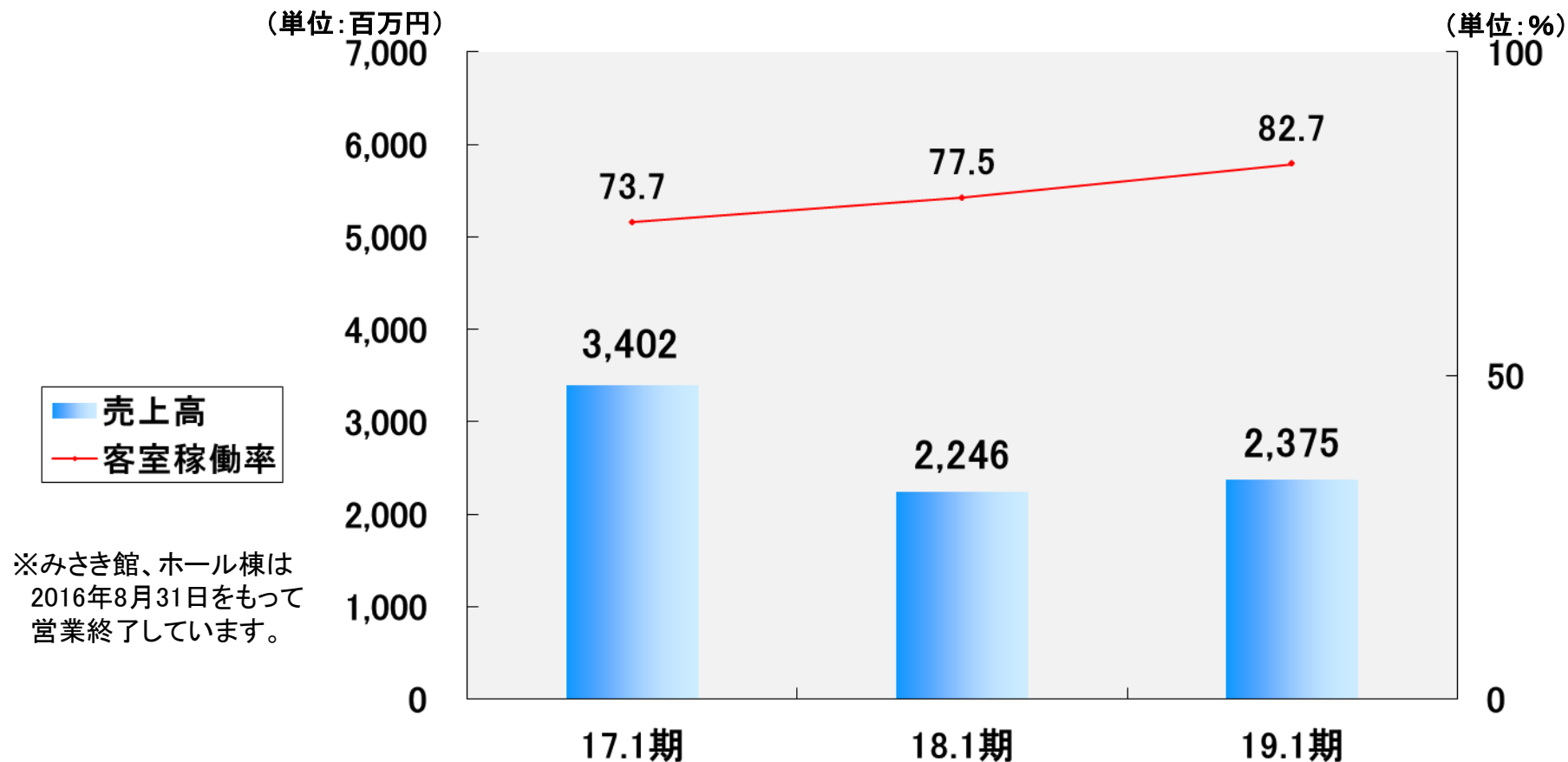
(単位:百万円)



主な所有物件

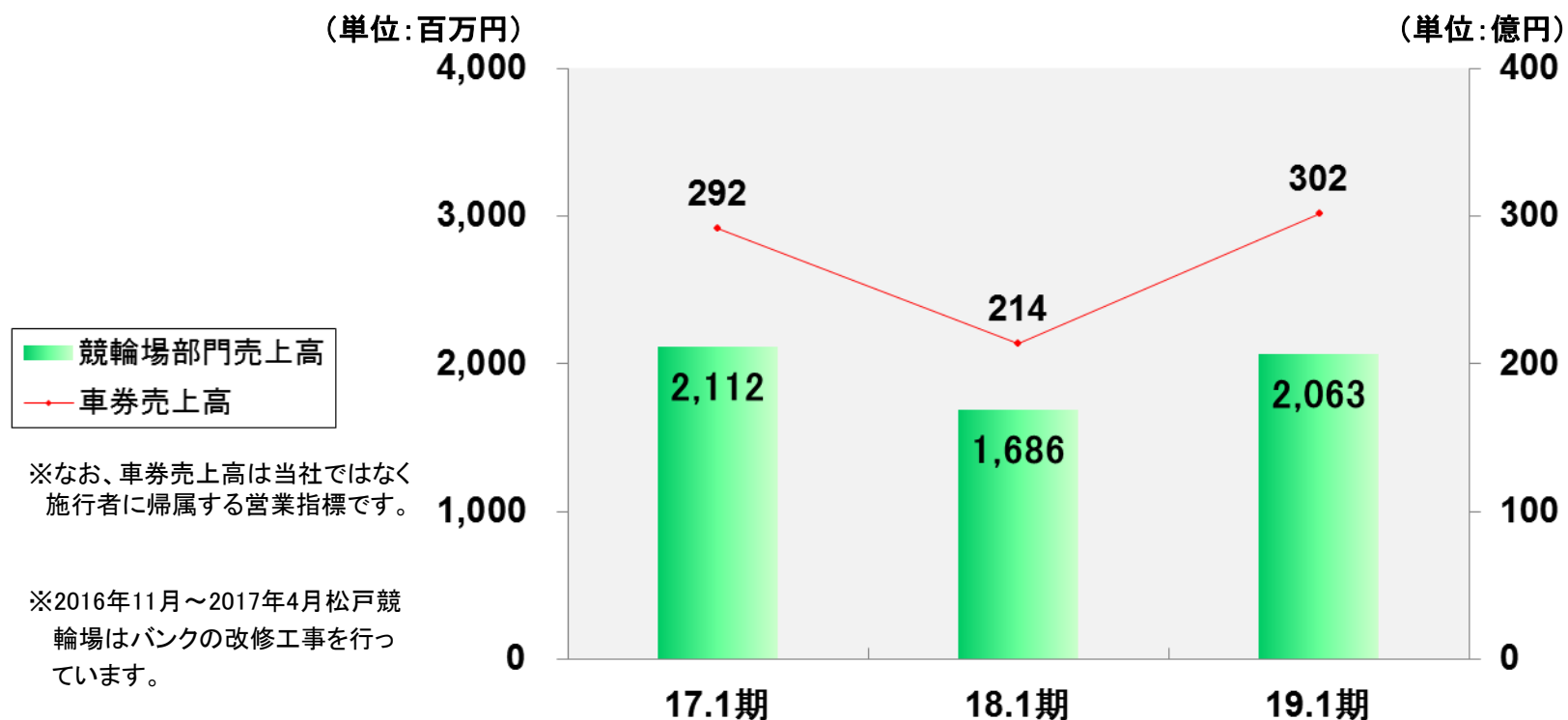
- ・アドホック新宿(新宿区)
- ・プチモールニツ木(松戸市)
- ・代々木イースト(渋谷区)
- ・柿の木坂BMW(目黒区)
- ・市ヶ谷ビル(新宿区)
- ・相模原ビル(相模原市)

熱海事業 熱海後樂園ホテル



参考	17.1期	18.1期	19.1期
宿泊者数(千人)	144	76	79

競輪事業 松戸競輪場



競輪場部門売上高内訳 (百万円)	17.1期	18.1期	19.1期
賃貸収入	619	448	582
運営受託収入	1,235	1,021	1,257
その他収入	257	217	223